

任期末を迎えて

平成30年4月に新しい制度により発足した箕輪町農業委員会も、この3月末に私たち委員の任期が満了致します。

顧みますと、この3年間は、担い手の減少や高齢化等の進行に伴う遊休農地の増加など農業・農村にとって非常に重要な課題が多かった時期であったと思います。

こうした中、委員一同皆様方のご理解とご支援を賜る中、所期の目的達成のため、一生懸命最善の努力を尽くして参ったつもりではありますが、力及ばざる面も多く、皆様のご期待に添うような業績をあげられたかどうか、反省をしております。にもかかわらず、終始力強いご協力とご支援をお寄せいただきました皆様に対し、あらためて厚くお礼を申し上げます。

終わりに、地域の農業生産力あるいは農業・農村を将来にわたり維持していくためには、担い手の育成に加え、農地利用の効率化・高度化など喫緊の課題が数多く、農業委員会の活動は一層重要性を増してきております。

新委員の活動に期待するとともに、引き続き町の皆様のご理解とご支援をお寄せいただきますようお願い致します。任期末のあいさつとさせていただきます。

箕輪町農業委員会会長 柴 恒年

農業 Hope 訪問

酪農家 荻原 大樹さん・美幸さん
ひろき みゆき



今回ご紹介するのは、木下在住の荻原大樹さん・美幸さんご夫婦とご家族。22haに及ぶ牧草地、乳牛82頭（搾乳牛60頭）を有す若い酪農経営家族です。

大樹さんは高校卒業後すぐに家業の酪農に就き、17年目を迎えます。妻の美幸さんは4年前に就農しました。

搾乳は朝夕2時間、12台の搾乳機で行っています。大樹さんや子どもたちが牛を搾乳場に誘導し、ミルカーに並べると、美幸さんが消毒・洗浄・装着・搾乳までの一連の作業を手際よくこなします。その間、大樹さんはというと、牛がいなくなった牛舎の清掃に専念します。

取材で訪問したこの日は、子どもたちが手際よく手伝っていて、家族協働の姿がとても印象的でした。間違いなく次の担い手のHopeです！



搾乳は美幸さんの担当

自家育成中の子牛

農業委員会

今期3年間の活動を振り返って (平成30年度～令和2年度)

農業委員会の今期3年間の活動を振り返りました。
箕輪町の農業および農地の状況（裏面にも関連記事）、
農業委員会の活動の目的や具体的な取り組みをご理解
いただければ幸いです。



県外視察研修



人・農地プランの話し合い

成果

- 地域や関係者の協力・行政の補助金で、不作付地・荒廃農地発生防止・解消および担い手への集積・集約が進んだ。
- 果樹を中心に若い新規就農者が増え、将来の農業に希望が持てた。
- 西天竜水田地帯で、集約モデル地区を設定した分散錯圃解消事業が開始できた。
- 荒廃地を含む遊休農地を活用したナツメ栽培などが軌道に乗った。
- 委員活動を通じて、地元の多くの人に農業委員会の取組みが周知できた。



農地パトロール

課題

- 担い手が少ない。特に中山間地では受け手・買い手・借り手がない。
- 営農組合では組合員の高齢化や脱退が進んでいて人手不足が顕著。
- 中核農家や農業法人でも後継者・従業員がいないところがある。
- 酪農家など大規模農家の減少で、離農による農地や農業設備が余る。
- 林野との隣接地の再生・非農地化・解消が必要。
- 農振地区に残る荒廃農地の解消。
- 農地の有効利用・適地適作の農業の推進。
- 行政と民間が一体となった集積・集約。
- 若手農業者・新規就農者の育成・確保、企業農業の参入の推進。
- 町外・県外者所有の不作付地等でのトラブルが多い。
- 休日は田畑に出て土と触れ合う人を増やす。
- 営農組合の転作ソバ栽培に頼る農地保全管理。

農業HOPEの方々



関谷 幸一さん(八乙女、野菜)



柴 吉洋さん(木下、米)



高橋 洋平さん(沢、果樹)



唐澤 金典さん(沢、トマト)



藤森 司さん(中曽根、羊)



目下 裕之さん・明子さん(木下、花)



展望 希望

- 北部果樹団地の発展。
- みのわテラス周辺の集積・集約。
- 天竜川東側の水田地帯の集積・集約。
- 新規・若手・女性就農者、中核農家後継者の成長。
- 農業法人の参入、企業誘致、雇用の創出。



北部果樹団地の木どう畑
(大出、果樹)



久保田 正男さんによる栽培技術研修
(北小河内、アスパラ)



みのわテラス、オープン!

農業委員会からのお願い

農地の相続登記は次世代への努めです。相続登記することで農地のトラブル防止に役立ちます。

▶地域の活性化のために

相続登記をしないと……

- ・再開発ができない。
- ・空家の管理や利活用ができない。
- ・不動産取引が遅くなる。

▶次の世代につなぐために

相続登記をしないと……

- ・二次三次の細分化相続が連鎖的に発生し、手続きがますます困難になる。
- ・相続が紛争問題になってしまう。

▶産業の推進のために

相続登記をしないと……

- ・農地や山林が放置されてしまう。
- ・農地の集約化ができない。
- ・農地の分散錯圖が解消できない。

▶安全安心な暮らしのために

相続登記をしないと……

- ・公共事業が進まない。
- ・防災・減災対策が進まない。
- ・災害復旧に多大な労力・時間がかかる。

「日本司法書士会、日本土地家屋調査士会連合会」より引用

箕輪町の農地状況の概要 (2021年1月現在、農業委員会調べ)

◎農地・農家の状況 (一部「農林業センサス」より)

耕地面積	1,490 ha 集積率：45% (田：706、畑：785)
経営面積	879 ha (田：413、畑：241、樹園：65、牧草：160)
遊休農地面積	15 ha 遊休率：1%、荒廃率：0.86% (田：2.7、畑：12.3)
農家戸数	1,559 戸 (自給的：832、主業：69、準主業：116、副業：542)
農業就業者数	1,076 人 (女性：516、40代以下：42)
認定農業者数	35 人
認定新規就農者数	8 人
参入農業法人数	7
人農地プランに基づく認定中心経営体数	約 90 (法人含む)

◎農業委員会活動等による状況

審議案件

- ・ 3 条 (所有権または借地権の移転) 許可
筆数：194、面積：13 ha
- ・ 4 条 (自己転用) 許可
筆数：46、面積：1.2 ha
- ・ 5 条 (3 条かつ 4 条) 許可
筆数：363、面積：13 ha

農地相談件数：32 件

相談の多い内容

- ・ 農地を手放したい・貸したい・管理してほしい
- ・ 境界がわからない
- ・ 借りている所有者がわからない。貸している耕作者がわからない
- ・ 貸している耕作者が農地を荒らしている

「明日に翔け上伊那ファーマーズの集い」祝賀会を行いました

「令和 2 年度 明日に翔け上伊那ファーマーズの集い」にて、箕輪町のお二方が農業功績者受賞者・農業名人認定者として表彰されました。

2 月 18 日、文化センター学習室にて、白鳥町長をお招きしての「伝達式」を挙行いたしました。ご両名、たいへんおめでとうございます。



農業功績者受賞：柴一吉氏 (写真中央右)

農業名人認定：唐澤美喜男氏 (写真中央左)